

各臓器での疾患の病因・病態を組織・細胞形態学および分子学的観点からその変化を捉えることが出来る。解出来るようになる。

到達目標（授業目標）

- ①疾患の病因・病態を組織・細胞形態学および分子学的観点からその変化を捉え、疾病の本態について説明出来るようになる。
- ②診断や治療に直結する検査法(免疫組織・細胞化学、ISH、FISH、遺伝子解析等)について説明できる。
- ③①、②の知識の統括や活用に基づいて、実践現場における疾病の予防、早期発見、治療、病態解析に有用になる。

回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）
1回	婦人科疾患①: 婦人科疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-子宮頸部における扁平上皮病変
2回	婦人科疾患②: 婦人科疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-子宮頸部扁平上皮病変における
3回	婦人科疾患③: 婦人科疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-子宮体部におけるホルモン 講義する。
4回	婦人科疾患④: 婦人科疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-子宮体部におけるI型癌、 る。
5回	呼吸器疾患①: 呼吸器疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-扁平上皮系病変および腺癌
6回	呼吸器疾患②: 呼吸器疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-腺病変とその前癌病変、A
7回	呼吸器疾患③: 呼吸器疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-悪性中皮腫-について講義
8回	泌尿器疾患: 泌尿器疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-低異型度尿路上皮癌とその鑑別病変
9回	甲状腺疾患①: 甲状腺疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-濾胞性腫瘍とその鑑別病変
10回	甲状腺疾患②: 甲状腺疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-乳頭癌および髄様癌とその鑑別病変
11回	乳腺疾患①: 乳腺疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-DCIS(非浸潤性乳管癌)-について講
12回	乳腺疾患②: 乳腺疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-癌とその鑑別病変-について講
13回	消化器疾患①: 消化器疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-膵管内乳頭粘液性腫瘍(Int IPMN)-について講義する。

14回	消化器疾患②: 消化器疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-膵臓腺房細胞癌とSPN(Sc 講義する。
15回	唾液腺疾患: 唾液腺疾患の組織・細胞形態学的捉え方と応用的検査法-癌とその鑑別病変-について
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

課題レポート(50%)および口頭試問(50%)を併せて総合的に評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書

適宜、資料を配布する。

参考図書等

- ・平井康夫・則松良明・矢納研二 編 ヨコハマシステム準拠子宮内膜細胞診アトラス第2版
- ・ Y Hirai・ F Fulciniti (eds.) The Yokohama System for Reporting Endometrial Cytology Note (Springer Nature)
- ・ 畠榮・則松良明・亀井敏昭・金城満 編 液状化検体細胞診断マニュアル(篠原出版)

授業時間外の学習について (授業準備のための指示)

予習・復習が必要な場合は、その内容について随時指示を出す。

関連科目

前科目	M301	臨床検査技術学特論	M302	医療技術科学研究方	M303	医療技術科学研究方	M313	病理細
後科目								

実務家教員				
備考				

ようになる。また、疾病の本態について理

明できる。

な病理組織・細胞検査を実施、開発でき

腺病変および腺病変-について講義する。

るけるHCCGの鑑別-について講義する。

不均衡内膜と細胞質変化(化生)-について

II型癌とその前癌病変-について講義す

病変とその鑑別病変-について講義する。

ALK肺癌-について講義する。

する。

鑑別病変-について講義する。

変-について講義する。

り亜型-について講義する。

て講義する。

義する。

traductal pillary mucinous neoplasm;

olid pseudopapillary neoplasm)-について

講義する。

反 (医学書院)

y Definitions, Criteria, and Explanatory

胞診検査学演



